

農大だより

発行日：令和2年3月1日
 発行：岐阜県農業大学校
 可児市坂戸938
 Tel：0574-62-1226
 Fax：0574-62-1227

◇目次◇

ASIA GAP認証審査を受けました

東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会に参加

卒業生からのメッセージ・卒業後の進路・資格検定に合格しました

農大トピックス



ASIA GAP認証審査を受けました

本校では、GAPの実践を教育計画に掲げており、平成30年度から農業生産工程管理の講義を設けるとともに実習での実践指導を行っています。

さらにGAPを推進するために、令和元年度中にカキを対象にASIA GAPの認証取得を目標に取り組んできました。

2月13日、本校野菜果樹学科果樹専攻の学生及び職員が、ASIA GAP Ver2.1の認証審査を受けました。当日は、160程の管理点について審査を受け、不適合項目について4週間以内に是正し、3月には認証の予定です。



<現場の確認を行う果樹専攻学生>



<書類審査の様子>

東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会に参加



<発表する南野さんと
北瀬さん>



1月16～17日に、滋賀県において東海・近畿ブロック農業大学校研究発表及び意見発表会が行われました。

本校からは、研究発表の部に2学年野菜果樹学科野菜専攻の南野那侑さん、意見発表の部に1学年野菜果樹学科野菜専攻の北瀬晴果さんが代表として発表しました。

南野さんは、「ナスの消費拡大を目指した生食用品種の選定」と題し、生食用ナス品種の収量性や食味などを検討し、どの品種が適しているかを発表しました。

北瀬さんは「大好きな地元、郡上で家族と夢を叶える」と題して、郡上市で両親経営の鉢花栽培に加えて新たに野菜の栽培をしたい、農業を心から楽しみたいと、熱い思いを語りました。

卒業生からのメッセージ



■■20歳になって思うこと、感じること■■

お酒が飲めて楽しい。お酒がおいしい
年をとったなあと感じたと同時に大人になったと思った
早いなあ。一年一年過ぎるのが早い
体力が落ちた。いろいろ大変
今までと変わらない
世界は広い。夢がある
胃もたれがやばい
肉の脂身がたべられなくなった。あまり生クリームがたべられなくなった
自己への責任の重さを実感。自由も責任も増えた
10代に戻りたい。歳をとるのが憂鬱になってきた
中学から全然背が伸びていない
あっという間の大学生活でした。20代は本当にあっという間に過ぎると思うので、今その時を楽しみたいです
多くの人と出会い、楽しい20年だったと思う。これからも、楽しく元気に生きてゆきたい
大人に近づいた嬉しさもありますが、これから仕事やお金等大変なんだろうなという不安で複雑な気持ちです
小さかった頃にかっこよかったいとこのお兄さんと同じ年になったにも関わらず、中身は小さいままだったので悔しいです
気づいたら20歳になってたと自分が自分にびっくりしていると感じる
20歳になると良くも悪くも行動の制限が減り自己責任が増えると思っています。自分や周りにより良い選択ができればと思います
子供の頃に思っていた目標の大人と今の自分のギャップがはげしいので、これからいろんな事でもっと頑張らないといけないと思った
社会的にも大人という立ち位置になるので、これまで以上に頑張りたいと思う



■■卒業後の抱負■■ ～畜産学科～

人に好かれるように頑張る 石原 誉将
家業を頑張る！ 板倉 一竜
仕事を頑張る 栗谷 朱里
早く仕事に慣れて戦力になれるように頑張る。ラーメンをたくさん食べる 武知 祐里佳
社会人として初めて働くことになります。まずは辞めないことを目標に
仕事の中で成長していきたいです 他田 桃香

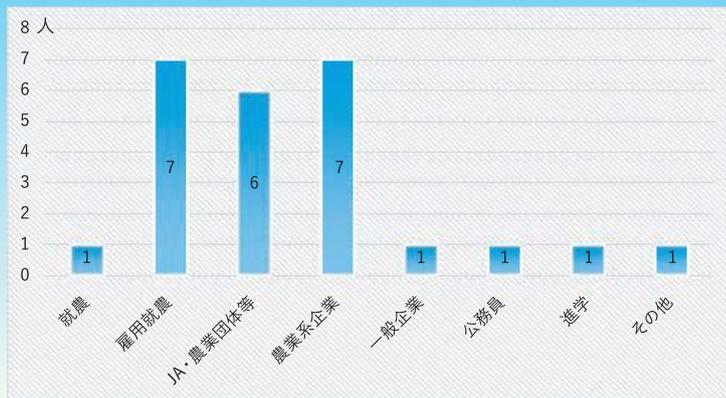
■■卒業後の抱負■■ ～野菜果樹学科～

農家になれるよう努力 柿 風舞希
 人を大切にします 栗田 裕吐
 幸せに暮らす!! 杉山 奈々美
 仕事を続ける 橋詰 実佑
 早起き、自立を頑張ります 南野 那侑
 つまらない大人にならない 大島 邦英人
 仕事を頑張って少しでも長く続けられるようにしていきたい 貝川 弥沙
 仕事を頑張る。頼られる人になる 永井 亜依
 卒業したら就職するので自分なりに頑張っていきたい 中島 しずく
 卒業後は1年1年大切に生活する 伊藤 勝登
 家族や大切な人たち、お世話になった人に恩返しをたくさんしていきたい 川本 千佳子
 健康的な生活。台所に立てる人間になる 野村 祥吾
 自立した人になって、周りの事を冷静に見る事ができるようになりたい。仕事を早く覚える 牧坂 みずほ
 京都で野菜販売の勉強をする 水谷 星斗
 職場で頼られるような人になる 山田 拓弥
 一年を明朗快活に過ごす 安藤 美咲
 20歳にある夢を30歳までに叶える 飯沼 仁人
 最終的に農家になるようホームセンターで勉強する 小林 良治
 就職先である養本社で定年まで働く。色々な所を旅したい 近藤 真子
 早く仕事に慣れて幸せになりたい 水谷 ひなた



卒業生の進路について

本年度卒業生の連絡先を紹介します



本年度は就職する学生が多い傾向となりました。

8名の学生が自営就農・雇用就農等農業生産現場で働きます。また、13名がJAや農業関係企業等、農業と関わりがある仕事に就きます。

卒業後も、様々な場面でお世話になると思います。引き続き、皆様の励ましと応援をお願いいたします。

資格・検定に合格しました



本年度下記の資格・検定等に合格した学生を紹介します。おめでとうございます。

- ★毒物劇物取扱者……………安藤 美咲・野村 祥吾・長谷川 巧
- ★危険物取扱者(乙種第4類)……南野 那侑・伊東 武蔵・大竹 一輝
- ★日本農業技術検定2級…扇本 紗弥・門原 萌・北瀬 晴果・土本 明里・長谷川 巧・藤田 舞

農大トピックス

学生寮外壁・果樹現場教室を改修しました

本年度、男子寮屋根外壁、駐輪場、渡り廊下及び果樹現場教室の改修工事を行いました。男子寮等は雨漏り補修や外壁塗装等を、果樹現場教室では、GAP推進のため、外壁塗装、耐震補強、トイレ増設、空調設置等大幅な改修を行いました。

より快適な学校生活を送れる環境が整いました。



〈男子寮〉



〈果樹現場教室〉

農福連携栽培技術基礎講座を開催します！

令和2年4月から岐阜県内福祉関係事業所の職員の方を対象に、農業の基礎を学んでいただく「農福連携栽培技術基礎講座」を開催します。

農業に取り組んでみたい、農作業を受託したいと考えている福祉関係の希望者がお見えになりましたらご紹介ください。

興味のある方は、本校教務課までお問い合わせください。

研修期間 4月～11月の月1～2回

募集期間 3月2日(月)～4月10日(金)

表彰を受けました

本年度下記の表彰を受けました。

- ◎毎日農業記録賞一般部門…3名 地区入賞 受賞
栗田 裕吐「私が描く将来の農業」
栗谷 朱里「これから地域を盛り上げるために」
牧坂 みずほ「地元で生きるために」

〈表彰を受けた栗谷さん、
牧坂さん、栗田さん〉



- ◎ヤンマー学生懸賞論文・作文
作文の部 奨励賞 受賞

他田 桃香「私の理想とする農業」

- ◎JAめぐみの

酪農部会乳質報奨金制度

岐阜県農業高等学校 最優秀賞 受賞

- ◎岐阜県域農林業教育システム研究発表交流会
優秀ポスター賞 受賞 南野 那有
「ナスの消費拡大を目指した生食用品種の選定」

農大PR動画つくりました

2学年生3人が農大紹介動画を作ってくれました。YouTubeで「農業高等学校」と検索して以下の動画を探してください。



〈農業高等学校の学校紹介
私たちの日常〉



〈農農農 It's 農大ライフ
農農農〉

校長のひとこと ～ワンチーム～

昨年秋のラグビーワールドカップでは日本中が湧きました。開催前に学生を前にしてラグビー精神を表す「ワンフォーオール、オールフォーワン」「ノーサイド」の話をしたのですが、流行語大賞は「ワンチーム」。熱血ドラマや懐メロでしかラグビーを語れない「にわかファン」には予想困難でした。さて、間もなく導入される5Gは圧倒的な情報通信速度を武器に、様々な分野で新たなビジネスモデルを生み出すことが期待されています。本校も学生・職員がワンチームとなりスピード感を持って変化に対応していかなければなりません。令和はスピードの時代、東京オリンピックではさらに展開の早い7人制ラグビーに注目です。今年の流行語は「セブンズ」か？

編集後記

本年度卒業する25名の皆さん、卒業おめでとうございます。挑戦しつづける心と夢や目標を持ち続け、一歩ずつ歩みを進めてください。今後の活躍に期待しています。

